

# 【広島市消費者物価指数】

## 1 平成23年7月の動向

- 広島市総合指数（100.3）は前月比で上昇。前年同月比は2か月連続で上昇。
- 生鮮食品を除く総合指数（100.3）は前月比で上昇。前年同月比は3か月連続で上昇。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（99.5）は前月比で同水準。前年同月比は上昇。

## 2 総合指数，生鮮食品を除く総合指数，食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	100.3	0.1	0.9
生鮮食品を除く総合指数	100.3	0.1	0.8
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	99.5	0.0	0.2

## 3 前月からの動き

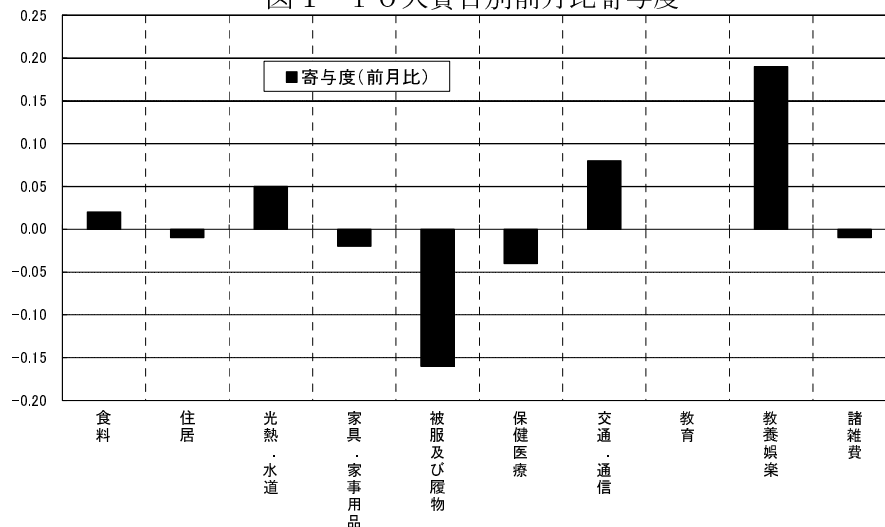
～教養娯楽は上昇。被服及び履物は下落。～

### (1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	100.3	100.9	99.4	103.1	98.6	99.7	99.4	101.5	98.2	97.8	103.5
前月比 (%)	0.1	0.1	0.0	0.7	▲ 0.6	▲ 3.4	▲ 0.8	0.6	0.0	1.7	▲ 0.2
寄与度	0.1	0.02	▲ 0.01	0.05	▲ 0.02	▲ 0.16	▲ 0.04	0.08	0.00	0.19	▲ 0.01

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目  
 教養娯楽：教養娯楽サービス（前月比 1.7%，寄与度 0.19）等  
 被服及び履物：シャツ・セーター類（前月比▲3.4%，寄与度▲0.16）等  
 交通・通信：自動車等関係費（前月比 0.6%，寄与度 0.08）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
項 目（主な品目名）	前月比	項 目（主な品目名）	前月比
教養娯楽サービス（外国パック旅行 等）	2.1%	シャツ・セーター類（スポーツシャツ〔半袖〕 等）	▲8.3%
自動車等関係費（ガソリン 等）	0.7%	家庭用耐久財（ルームエアコン 等）	▲3.0%
交通（鉄道運賃 等）	1.8%	洋服（婦人Tシャツ〔半袖〕 等）	▲2.4%
教養娯楽耐久財（テレビ 等）	2.9%	医薬品・健康保持用摂取品（サプリメント 等）	▲2.1%
電気代（電気代 等）	1.2%	乳卵類（ヨーグルト 等）	▲1.6%

4 前年同月からの動き

～食料、諸雑費が上昇し、教養娯楽が下落。～

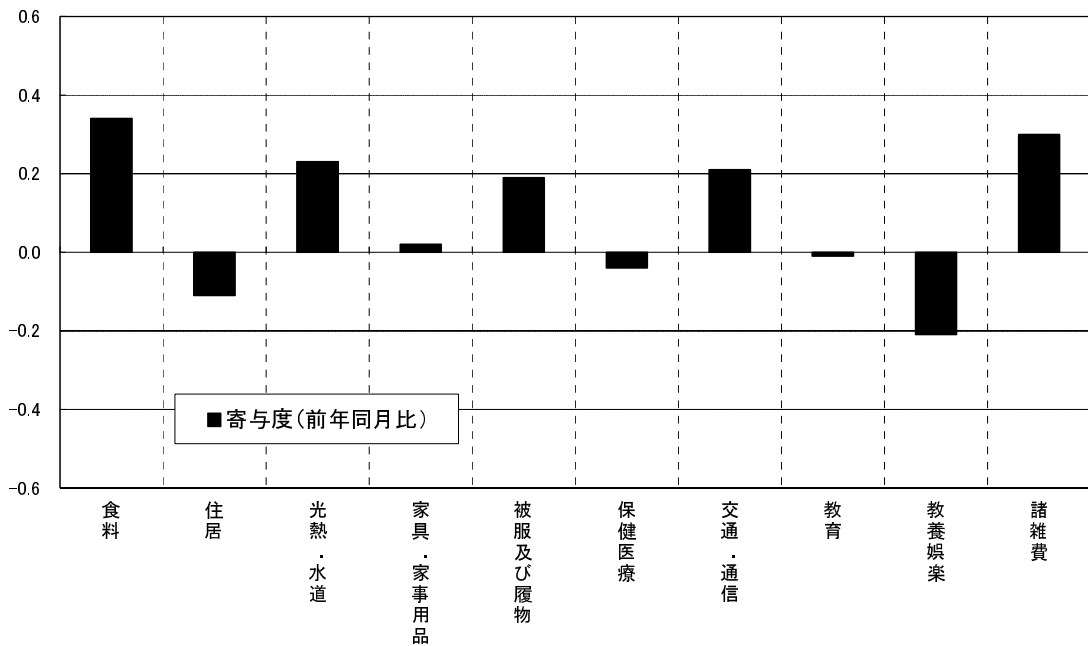
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	0.9	1.3	▲0.5	3.1	0.4	4.3	▲0.7	1.5	▲0.2	▲1.8	4.9
寄与度	0.9	0.34	▲0.11	0.23	0.02	0.19	▲0.04	0.21	▲0.01	▲0.21	0.30

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

食 料：外 食（前年同月比 1.9%， 寄与度 0.09）等  
 教養娯楽：教養娯楽用耐久財（前年同月比▲12.9%， 寄与度 ▲0.27）等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目（寄与度順）

上 昇		下 落	
費 目（主な品目名）	前年同月比	費 目（主な品目名）	前年同月比
自動車等関係費（ガソリン 等）	2.2%	教養娯楽耐久財（テレビ 等）	▲12.9%
たばこ（たばこ〔国産品〕 等）	38.3%	家庭用耐久財（電気冷蔵庫 等）	▲5.7%
他の諸雑費（傷害保険料 等）	8.9%	家賃（持家の帰属家賃 等）	▲0.5%
電気代（電気代 等）	3.8%	教養娯楽用品（トレーニングパンツ 等）	▲2.3%
洋服（背広服〔夏物, 中級品〕 等）	6.2%	医薬品・健康保持用摂取品（サプリメント 等）	▲1.8%